

小郡市
ペット
防災手帳
(飼い主用)

小郡市生活環境課

普段から備えておきたいこと



災害が起こったとき、大切なペットを救えるのは、飼い主である皆さんです。いざというときに慌てないように、日頃から災害に備えておきましょう。

①自宅の防災対策

災害は、家でペットと飼い主が一緒にいるときに発生するとは限りません。まずは、家具を固定する、倒れやすいものを置かないなど、自宅の防災対策を。

②飼育にあたっての手続き

犬の飼い主には、市への登録、狂犬病予防接種が義務づけられています。

③ペットの身元がわかるように

鑑札や狂犬病予防注射済票、迷子札などを装着しましょう。マイクロチップを併用すると、外れる心配がなくさらに安心です。

④健康管理

日頃から、予防接種やノミ・ダニの駆除をしておきましょう。繁殖を望まない場合は、去勢・不妊手術を。

⑤しつけ、“社会化”

「お座り」「待て」などの基本的なしつけのほか、ケージやキャリーバッグにも慣らしておきましょう。また、飼い主以外の人や他の動物に慣らしておく、人に預ける際に役立ちます。

⑥迷子対策

万が一迷子になったときのために、ペットの特徴がわかる写真やイラストを用意しておきましょう。

また、飼い主と一緒に写真があると、保護されたペットを引き取る際にも飼い主確認ができます。

⑦ペット用品の準備

避難生活に必要なものをすぐに持ち出せるよう、用意しておきましょう。

- フード(数日分)
- 水(数日分)
- 薬、療法食
- 鑑札、迷子札
- ケージ
- 首輪やリード
- 食器
- タオル、毛布
- ドライシャンプー
- ペットシート
- ビニール袋
- カッター、はさみ
- 洗濯ネット(猫)
- ガムテープ
- 排泄物の処理用具
- 飼育手帳、治療記録など

車中避難・車中泊は、できるだけ避けましょう



車中避難や車中泊は、エコノミークラス症候群の危険があります。また、ペットは人間よりも暑さに弱いため、熱中症にかかりやすく、最悪の場合、死に至ることもあります。やむを得ず車中避難・車中泊をする場合でも、温度管理や水分補給、こまめな運動を心がけましょう。

ペットとの同行避難



過去の災害では、ペットがいることで避難をためらったり、家に残してきたペットを迎えに行ったりした人が、二次被害に巻き込まれることがありました。

小郡市では、どの指定避難所にもペットを連れて避難できます。避難を迷ったときは、ペットと一緒に、早めに避難してください。

※「同行避難」とは、飼い主がペットを連れて一緒に避難することです。避難所内の同じスペースで、人とペットと一緒に生活することではありません。

ペット同行避難のルール

受入可能な動物

哺乳類、鳥類、爬虫類に属する動物で、家庭でペットとして飼育されているもの。のら猫や、野生の負傷動物は受け入れません。

受入の条件（犬）

犬は、市への登録と1年以内の狂犬病予防注射を済ませた上で、鑑札と注射済票をつけていることを条件とします。



▲鑑札(左)と注射済票(右)

ペットスペースについて

ペットは、原則として室内に連れて入ることはできません。

ペットスペースの清掃等は、避難ペットの飼い主が協力して行って頂きます。

ペットの飼育・管理について

ペットの管理は、全て飼い主が責任を持って行ってください。

ペットは、ケージやキャリーケース、かご、水槽等に入れ、逃げ出さないようにしましょう。

可能な動物には、首輪やリードをつけてください。

困ったときの連絡先

①ペットがいなくなった

- ・小郡市生活環境課 ☎0942-72-2111 内線 152
- ・福岡県北筑後保健福祉環境事務所(保健所) ☎0946-22-2741
- ・小郡警察署 ☎0942-73-0110

②飼い主のわからない犬が放浪している

- ・福岡県北筑後保健福祉環境事務所(保健所) ☎0946-22-2741

③避難所でのペットの飼育などについて相談したい

- ・福岡県北筑後保健福祉環境事務所(保健所) ☎0946-22-2741

わが家のペット情報



飼い主の情報

氏名		連絡先	(自宅)
住所			(携帯)

ペットの情報

名前		動物種 犬種		写真
性別		生年月日	年 月 日(歳)	
毛色		かかりつけの 動物病院		
好きなもの (食べ物、おもちゃなど)				
その他 (鑑札番号、服用薬など)				

名前		動物種 犬種		写真
性別		生年月日	年 月 日(歳)	
毛色		かかりつけの 動物病院		
好きなもの (食べ物、おもちゃなど)				
その他 (鑑札番号、服用薬など)				